

あなたは現金払い？それともカード払い？



～いろいろな支払方法と電子マネー～

最近、現金以外にもいろいろな支払方法が増え、現金を持ち歩かなくても電車やバスに乗れたり、買い物ができるようになりました。

現金、カード、電子マネー・・・あなたはどれで支払うことが多いですか？

今回は、支払方法の種類と急速に普及している電子マネーについてまとめてみました。

お金の支払方法は、お金を支払うタイミングにより、大きく3つに分けられます。

前払い（プリペイド）

前もって券やカードを買っておき、現金の代わりに使う。

紙型

財産価値を紙面に印刷。
百貨店共通商品券、ビール券 など

磁気型

財産価値をカードの磁気に記録。
残高がなくなると使えない。
QUOカード、図書カード など

IC型

財産価値をカードのICチップに記録。
チャージ（入金）して繰り返し使える。
カードを端末にかざすだけで支払完了。



- ◆ICOCA、NicoPaなどの交通系電子マネー
- ◆nanaco（セブンイレブン）、WAON（イオン）などの商業系電子マネー

サーバ型

財産価値をID番号により発行会社のサーバに記録。インターネット上での支払専用。カードがなくても番号があれば利用可能。

コンビニ等で購入するamazonギフト券、iTunesカードなどの電子マネー



即時払い

商品やサービスと引き換えに代金を支払う。

現金払い

即座に代金が口座から引き落とされる。



デビットカード

後払い（ポストペイ）

商品やサービスを先に手に入れ、期日までに一括または分割で支払う。

クレジットカード

利用者の信用に基いて発行。事前の審査が必要。

ローン

金融機関等からの借金。「住宅ローン」、「自動車ローン」など

ポストペイ型電子マネー

利用後にクレジットカードから引き落とされる。
PiTaPa、iD、QUICPay など



●保護者の方へ●

ICOCAなど交通系電子マネーを始めとして、今や、多くの子どもが当たり前のように持っている電子マネー。お金を好きに使える魔法のカードになっていませんか。お財布の中から現金がなくならないので、お金を使っている感覚が薄れてしまいます。電子マネーは「お金」と同じということをしっかり伝え、使ううえでのルールを親子で一緒に考えることが大切です。



電子マネーってなに？

電子マネーとは、現金を使わずに、お金（金銭的な価値）を電子データにかえて、商品やサービスの支払いに使用するものです。前ページで紹介したとおり、金銭的な価値がどこに記録されているかで「IC型」「サーバ型」の2種類に分けられます。また、前もってチャージ（入金）する必要のあるカードを先払いという意味の「プリペイド型」、チャージ（入金）する必要がなくクレジットカードと関連づけて後払いするものを「ポストペイ型」と言います。

では、電子マネーの「よいところ」と「注意するところ」を確認してみましょう。



よいところ

- ・端末にかざすだけで一瞬のうちに支払完了。
- ・サインや暗証番号の入力が不要。
- ・小銭を気にせずスピーディーに支払いができる。
- ・少額の買い物でも気軽に利用できる。
- ・審査がないので誰でも簡単に持てる。
- ・ポイントがたまって還元される。

注意するところ

- ・プリペイド型は事前にチャージ（入金）が必要。
- ・クレジットカードから自動チャージされる場合は使いすぎてしまう。
- ・加盟店以外では使えない。
- ・残高の確認には、専用の端末やインターネット環境が必要。
- ・原則、残金の払い戻しができない。
- ・紛失したり、ID番号が知られると他人に使われてしまう危険性がある。
- ・お金を使っている感覚が薄れる。

注意

電子マネーを悪用した詐欺が急増中！高齢者だけではなく若者にも被害が...
「コンビニでギフト券（電子マネー）を購入して番号を教えて！」は危険です。

「有料動画の未納料金が発生している」「あなたに1000万円が当選した」などと嘘のメールを無作為に送り、驚いて電話をかけてきた被害者に電子マネーを買わせ、ID番号を教えるよう指示します。中にはLINEやTwitterのアカウントを乗っ取り、知り合いになりすまして購入を依頼するといったケースもあります。

絶対に指示にしたがわないで！

カードに記載されたID番号を相手に伝えることは現金を渡すのと同じです。詐欺業者はID番号を入手

するとすぐに使用してしまうので、後になってだまされたと気付いても取り戻すことは非常に困難です。少しでも不安や疑問に感じたら一人で判断せず、家族や周りの人に相談することが大切です。少しでもおかしいと思ったら、「姫路市消費生活センター」に気軽にご相談ください。

現在、いろいろな種類の電子マネーが普及し、私たちの日常生活の中に広く溶け込んでいます。上手に使えばとても便利なツールです。その一方で、よく理解せず利用してしまったことで思わぬトラブルに巻き込まれる可能性もあります。電子マネーを利用するときは、メリットだけではなく、その特徴や利用上の注意点をよく理解したうえで、自分に合ったものを利用しましょう。